

## 【北九州人権擁護委員協議会】

令和6年11月24日（日）、北九州市のウェルとばたにおいて「ふれあいフェスタ2024」が開催されました。「ふれあいフェスタ」は、人権に関するステージイベント、パネル展示や人権・福祉団体による日常活動の紹介などを通して、楽しい雰囲気の中で人権の大切さについて考えるイベントとして開催されています。

当日は、「人権の花」運動参加校の児童による一言メッセージのパネル展、特設人権相談所の開設、ボッチャ体験の実施等を行い、たくさんの来場者がブースを訪れてくださいました。来場者の皆様に人権擁護委員制度の周知及び人権尊重とその擁護についての理解を深めてもらうきっかけにさせていただいたのではないかと思います。



## 【北九州人権擁護委員協議会】

令和6年11月9日（土）、北九州市立総合体育館で開催された国際車いすバスケットボール大会において、人権啓発活動を行いました。

観客席近くのロビーに啓発ブースを設営し、来場者に対して人権擁護委員の活動を周知するとともに、人権の大切さを呼び掛けました。この日は、午前中に日本チームとカナダチームの試合が行われ、その試合観戦のため来場された多くの方に立ち寄っていただきました。



## 【北九州人権擁護委員協議会】

令和6年10月26日（土）、北九州市及びＪリーグギラヴァンツ北九州と連携した取組として、ギラヴァンツ北九州ホームゲームにて、人権啓発活動を実施しました。当日は、スタジアムメインスタンド中央に人権啓発ブースを設営し、人KENまもる君と人KENあゆみちゃんと一緒に、幅広い世代に向けて、人権週間や人権擁護委員制度の周知などの啓発活動を行いました。

また、試合前には大型ビジョンで人権啓発動画の放映を行い、多くの来場者に対して人権尊重思想の普及高揚を図りました。



## 【北九州人権擁護委員協議会】

北九州市及び遠賀郡の小学校3校・4～6年生を対象に、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手を講師に迎え、人権・スポーツ教室を実施しました。教室の中では、人権擁護委員と選手から、人権とは何かということや、相手を思いやることの大切さについての話がありました。選手と一緒にバスケットボールのプレーをしていく中で、相手に合わせたプレーをすることや、みんなでチームとなって声掛けをすることが大事だと気付くことができた児童たちは、互いに助け合い、励まし合いながら熱心にプレーをしていました。児童からは、「自分勝手な動きをしないことが大事だと思った。」との感想が聞かれました。



各チームにわかれ、選手の話をしている様子



人権擁護委員による人権教室



ライジングゼファー選手との試合



シュート練習の様子



選手による人権メッセージ



教室後の振り返り